

## 長期ビジョンに関する「高校生ワークショップ」開催レポート

### ●高校生ワークショップについて

若年世代の視点から八王子市の未来のありたい姿を描き、実現に近づくために必要なことを考える場を設けることによって、八王子市で過ごす高校生が地域との関係性をより自分ゴトとして捉える機会とするとともに、若年世代の考えを長期ビジョンに反映することを目的とし、高校生ワークショップを開催しました。

### ●開催日時・開催方法

本来であれば対面での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンラインでの開催となりました。市内の高校を通じて参加者を募集し、学校の教室あるいは自宅から、1人1台の端末を通じて集まりました。意見の可視化や分類等には、インターネット上で共同編集できる場所を設け、共通の画面を見ながら意見交換を行いました。

	開催日時	開催方法
第1回	令和2年10月25日(日) 13:00~15:30	・オンライン(Zoom)によるグループ討議 ・ワークには Google スライドを使用
第2回	令和2年11月8日(日) 13:00~15:30	・オンライン(Zoom)によるグループ討議 ・ワークには Google スライドを使用

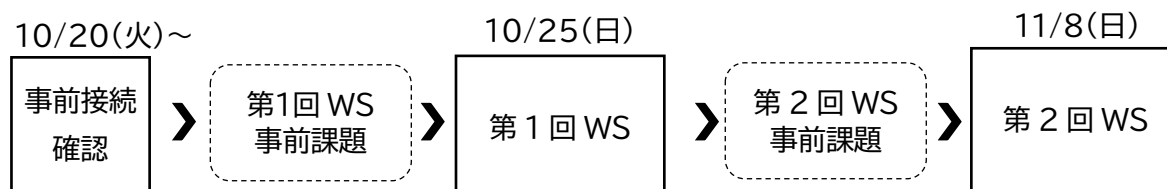
### ●参加者とグループ構成

ワークショップは合計8校15名の高校生に参加いただき、全2回行いました。グループワークは3~4名ずつの4グループに分かれて行いました。(第2回のみ1名欠席)

	グループ構成と参加者数
第1・2回 共通	A 4名(男性1名、女性3名)(1年生3名、2年生1名)
	B 4名(男性1名、女性3名)(1年生2名、2年生2名)
	C 4名(男性1名、女性3名)(1年生4名)
	D 3名(男性1名、女性2名)(1年生2名、2年生1名)
	合計15名(男性4名、女性11名)(1年生11名、2年生4名)(市内7名、市外6名)

※参加高校・・・八王子東高校、翔陽高校、八王子桑志高校、南多摩中等教育学校、八王子北高校、共立女子第二高校、工学院大学付属高校、明治大学付属中野八王子高校

### ●全体の流れ



## ●ワークショップ全2回の事前課題とゴールイメージ

第1回	事前課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●私(高校生)のわくわくワークシート               <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市内を舞台として、自分が思う“楽しく充実した理想の高校生活”を思い描く</li> </ul> </li> <li>●なりきりわくわくワークシート               <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市に暮らす人物像を設定して、その人物になったつもりで、“八王子市での楽しく充実した理想の暮らし”を思い描く</li> </ul> </li> </ul>
	ゴールイメージ	高校生の視点から、様々な世代が楽しく充実して暮らせるような八王子市の未来のありたい姿について、キーワードを抽出する
第2回	事前課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●未来のありたい姿に近づくために必要なことを考えるワークシート               <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回で検討したテーマ・キーワードに基づいて、それを実現するために、できていないこと、変えたいこと、新しくやること、環境が整うとよいことを書き出す</li> </ul> </li> </ul>
	ゴールイメージ	理想の実現に向けた課題をふまえ、八王子市の未来のありたい姿とそのために必要なことを明らかにする



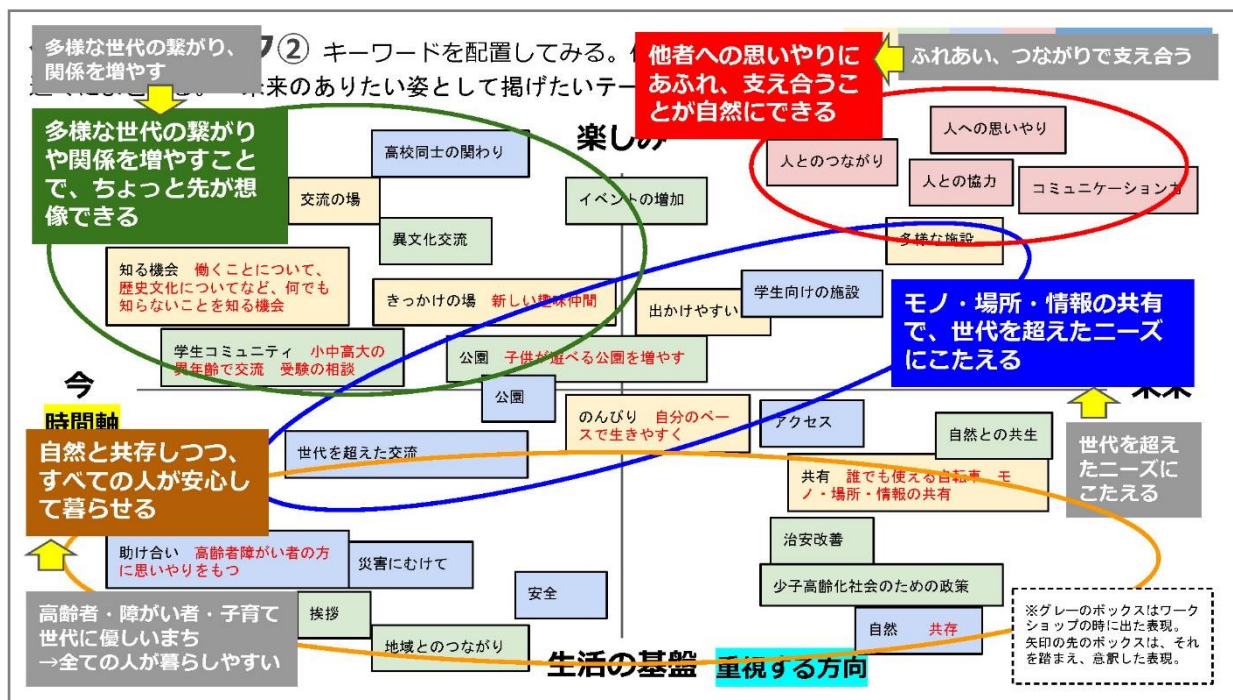
●ワークショップでの検討結果

◇Aグループ

【第1回】八王子市の未来のありたい姿(キーワード・テーマ)

検討内容	主な意見
ワーク①-1 高校生として楽しく豊かな高校生活のイメージ	【交流】・幅広い世代と関わることができる(働くことについて話が聞けるなど) ・地域の人ともっと交流がある。イベントがもっとあるといい ・地域の人と挨拶がしあえる(顔見知りになると、安心安全なまちになる) ・みんなが明るく話せる 【安全】・自然の多さは八王子の魅力だが、山に近いところでは土砂災害などが心配 【安心】・段差がない歩きやすい街 【遊び】・サマーランドのような遊べる施設がアクセスのよい場所にあるといい
ワーク①-2 人物像を設定して、その人物が楽しく豊かに暮らせるイメージ	【子ども・子育て世代】・アスレチックがある大きな公園がある・小さい公園が近くにたくさんある・子どもと地域の人に関わりがある。地域の人に子供の顔を覚えられていると安心 【高齢者】・バスにステップがある。段差がない。急かさないうで歩ける。安心して歩ける
ワーク② 様々な世代が楽しく豊かに暮らすために大切にしたいこと	★交流・・・高校生同士の関わり、学生コミュニティ、新しく知り合うきっかけの場、地域のことを知る機会、世代を超えた交流、挨拶、イベントの増加 ★思いやり・・・人との協力、助け合い、コミュニケーション、自分のペースで生きる ★共有・・・多様な人が使える施設、行きやすい公園、誰でも使える自転車など ★自然との共生

ありたい姿(キーワード・テーマ)	
他者への思いやりにあふれ、支え合うことが自然にできる	・高齢者も小さな子どもがいる母親も、自分のペースで生きられることが大切で、それぞれの状況を思いやり、協力しあうことで、みんなが生きやすいまちになる
多様な世代の繋がりや関係を増やすことで、ちょっと先が想像できる	・高校生として、大学生や地域の年配者から色々なことを教えて欲しい。知る機会や、新しく知り合えるきっかけの場があるといい。他校の高校生や、小中高大の異年齢交流もしたい
自然と共存しつつ、すべての人が安心して暮らせる	・自然の多さが魅力である一方で、自然災害のリスクと隣合わせ。自然と共存しつつ、弱者も安心して暮らせる優しいまち
モノ・場所・情報の共有で、世代を超えたニーズにこたえる	・様々な世代が場所を共有することで交流が生まれる。場所だけでなく情報も共有することでつながれる。様々な世代が共有できる場所の創造、情報の仕組みが必要



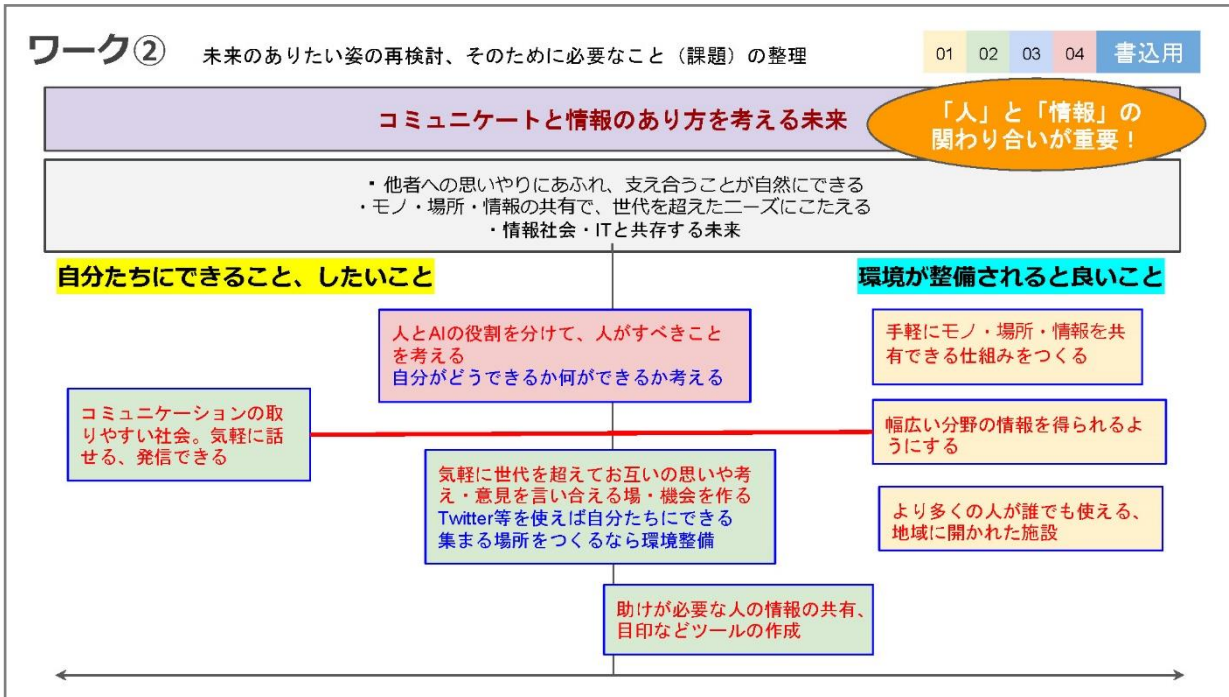
【第2回】 未来のありたい姿の再検討と、その姿に近づくために必要なこと

ありたい姿の キーワード・テーマ	その姿に近づくために必要なこと 主な意見
モノ・場所・情報の共有で、世代を超えたニーズにこたえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手軽にモノ・場所・情報を共有できる仕組みをつくる</li> <li>・公共施設について、より多くの人に知らせ、より多くの人が使ええる施設とする</li> <li>・一か所で幅広い分野の情報を得られるようにする</li> <li>・関わる機会をつくる。自分から飛び込む</li> <li>・身近な情報で、信頼できる情報が入手しやすくなる必要がある</li> </ul>
他者への思いやりにあふれ、支え合うことが自然にできる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの思いや考えを共有することができる場・機会を作る。他世代のニーズを知ることが必要</li> <li>・助けが必要な人の情報の共有、目印などツールの作成</li> <li>・コミュニケーションがあるから思いやりが生まれる。コミュニケーションは初めの一步。コミュニケーションの取りやすい社会。気軽に話せる、発信できる社会。</li> </ul>
情報社会・IT と共存する未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械を使いこなしつつ、人間性も大切にしたい</li> <li>・人と AI の役割を分けて、人でなければできないことは何かを考える必要がある。教師や医師は AI では無理。自分自身の考えをもつことが大事</li> <li>・メディアのあり方・情報の受け取り方を考えていく必要がある</li> </ul>

ありたい姿

コミュニケートと情報のあり方を考える未来

・様々な立場の人が、互いを思いやり、協力していく社会をつくるためには、情報を共有していく必要があると考えた。地域の人との交流、高齢者との交流、他校の高校生との交流、小中高大の異年齢交流など、もっと交流したいと考えており、交流すること、情報を共有することは、一体であることに気づいた。そこで、未来のありたい姿として、「コミュニケートと情報のあり方を考える未来」を掲げた。

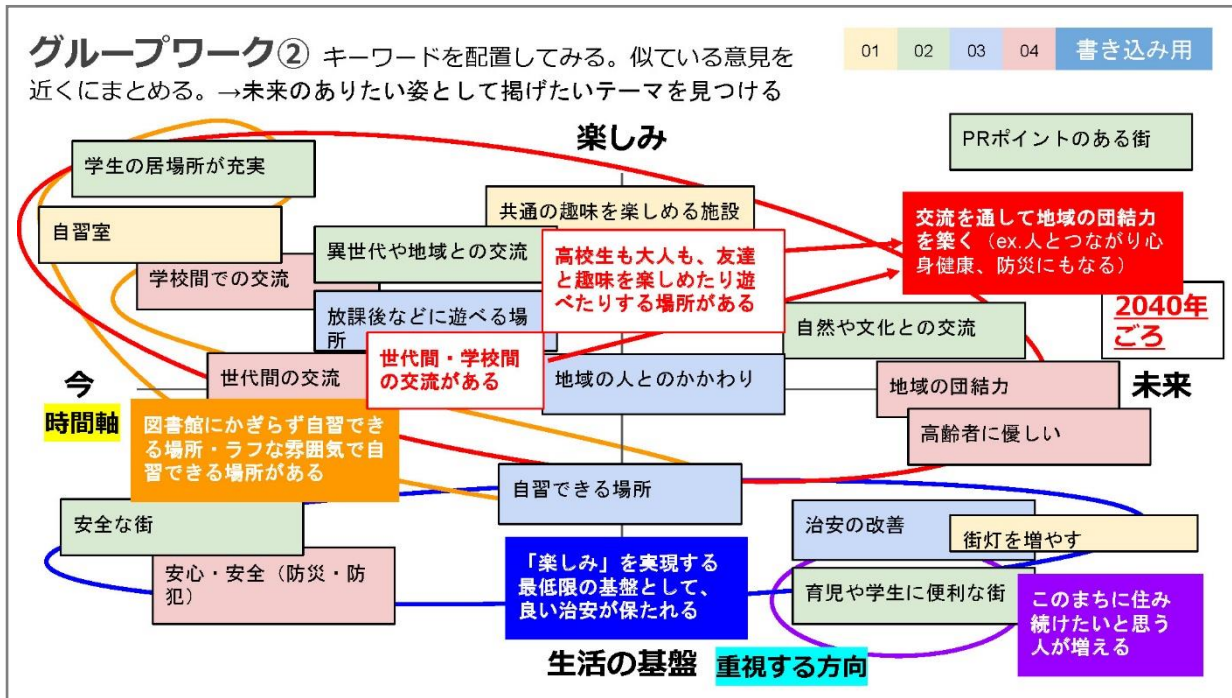


◇B グループ

【第1回】 八王子市の未来のありたい姿(キーワード・テーマ)

検討内容	主な意見
ワーク①-1 高校生として楽しく豊かな高校生活のイメージ	<b>【交流】</b> ・いろいろな年齢層の人と触れ合える ・地域の人と交流して、昔の八王子の話を聞ける ・ほかの高校や大学、企業との連携があり、相談や体験学習ができる <b>【地域を知る】</b> ・地域の野菜を使った郷土料理を作って食べて、八王子を知る ・八王子ならではの魅力に触れられるイベントや体験ができる <b>【居場所】</b> ・友達と勉強しつつお茶もできるちょうどよい場所がある ・映画館などの娯楽施設や、美大と連携した SNS 映えスポットがある <b>【治安】</b> ・街灯が十分に設置されている
ワーク①-2 人物像を設定して、その人物が楽しく豊かに暮らせるイメージ	<b>【5歳子ども】</b> ・屋根付き商店街がある ・祭りや読み聞かせなど異世代交流できる <b>【中学3年生】</b> ・高校選びのツールが充実(最寄り駅からの距離が分かるマップなど) <b>【20歳美大生】</b> ・美術館などで作品展を開催 ・定住のため住宅支援が受けられる <b>【70代退職後】</b> ・地域の人と共通の趣味を楽しむ場所がある ・心身の健康を保つ
ワーク② 様々な世代が楽しく豊かに暮らすために大切にしたいこと	★交流・・・世代間の交流、学校間の交流、地域との交流、自然や文化を知る交流 ★居場所・・・共通の趣味を楽しめる施設、自習室や娯楽施設など学生の居場所 ★八王子ならではの魅力・・・豊かな自然、魅力を知ることによって生まれる地域への愛着 ★便利・・・子育て世代や学生が暮らしやすい ★安全・・・治安の改善、安心・安全(防災・防犯)

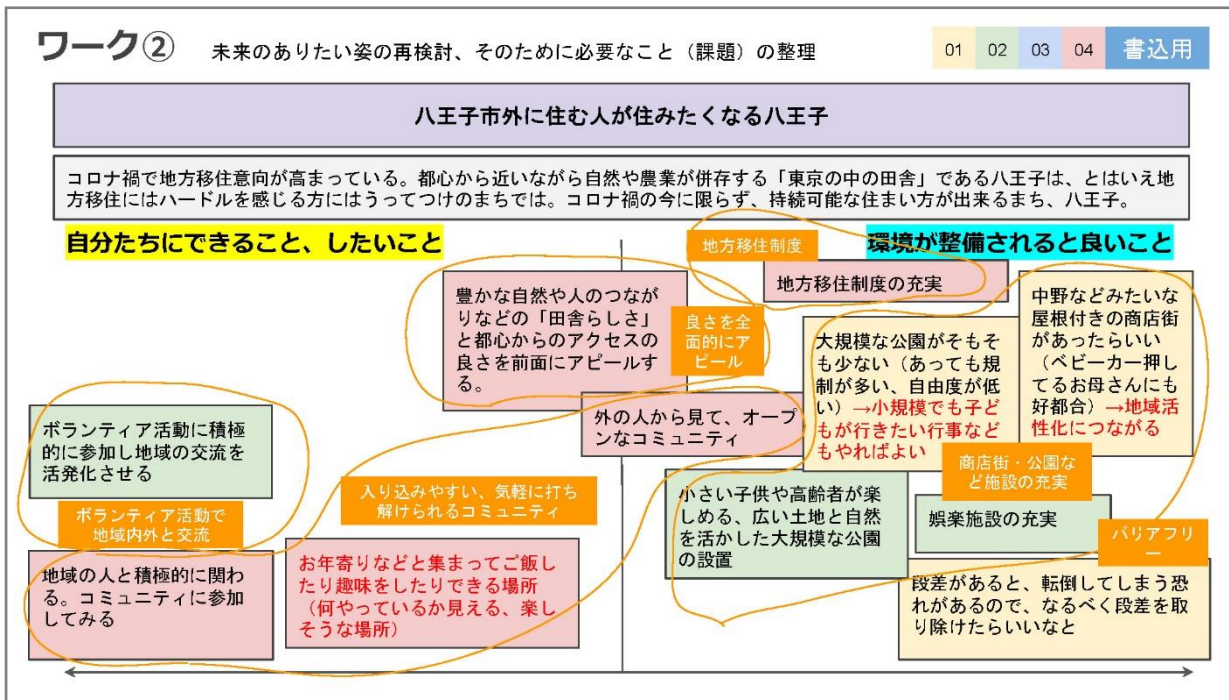
ありたい姿(キーワード・テーマ)	
交流を通して地域の団結力を築く	・世代間や学校間の交流があること、高校生も大人も友達と趣味を楽しみ遊べる場所があることにより、地域が団結していく。地域の団結は暮らす人の心身の健康や防災にもつながる
図書館にかぎらず自習できる場所・ラフな雰囲気自習できる場所がある	・図書館の自習スペースは限られるうえ、長時間利用するとほかの利用者の迷惑になってしまう。図書館のほかに、友達とお茶しながら勉強できるようなちょうどよい場所が欲しい
「楽しみ」を実現する最低限の基盤として、良い治安が保たれる	・理想の暮らしの大前提として、街灯の十分な設置など、防災や防犯の観点から安心・安全が確保されている
このまちに住み続けたいと思う人が増える	・子育て世代や学生が暮らしやすいまち。学生が卒業後に八王子に残りたいと思った時に後押ししてくれるような支援が欲しい



【第2回】 未来のありたい姿の再検討と、その姿に近づくために必要なこと

ありたい姿の キーワード・テーマ	その姿に近づくために必要なこと 主な意見
交流を通して地域の団結力を築く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや大学生など異世代、高校生、企業と交流できる催しや施設がある</li> <li>・オンラインで交流できる場があり、進路など大学生に相談できる</li> <li>・町内会など助け合いのコミュニティ、地域の人と顔を合わせる場を作る</li> <li>・外の人から見てオープンで気軽に入り込みやすい地域コミュニティをつくる</li> <li>・地域の人と積極的に関われるよう、ボランティア活動やコミュニティに参加する</li> <li>・お年寄りをはじめ誰もが孤独を感じないよう関わりをつくっていく</li> <li>・お年寄りが孫世代に日本の伝統文化を教える機会をつくる</li> </ul>
このまちに住み続けたいと思う人が増える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関の充実や育児のしやすさなど、定住したいと思える魅力を増やす</li> <li>・子連れの方に便利な屋根付き商店街、バリアフリーが徹底された商店街がある</li> <li>・映画館など幅広い世代が楽しめる施設を充実させる</li> <li>・規制が少なく自由度が高い大きい公園があり、子どもがのびのび遊べる</li> <li>・市内外で八王子の魅力であるソウルフードや祭りの認知度を高める</li> <li>・豊かな自然や人のつながりなど「田舎らしさ」と都心からの近さをアピールする</li> </ul>

ありたい姿
<h3>八王子市外に住む人が住みたくなる八王子</h3>
<p>・市外在住者が多いグループであったため、「外からの目線」で魅力的な八王子を考える意見が多く挙げられた。さらに、八王子は都心に近いながら自然や農業が息づく「東京の中の田舎」であるという視点も挙げられ、コロナ禍で地方移住意向が高まっているなかで、八王子は移住にちょうどよいまちと言えるのではとの気づきが生まれた。コロナ禍の今に限らず、持続可能な住まい方が出来るまちとしての可能性を見出した。</p>

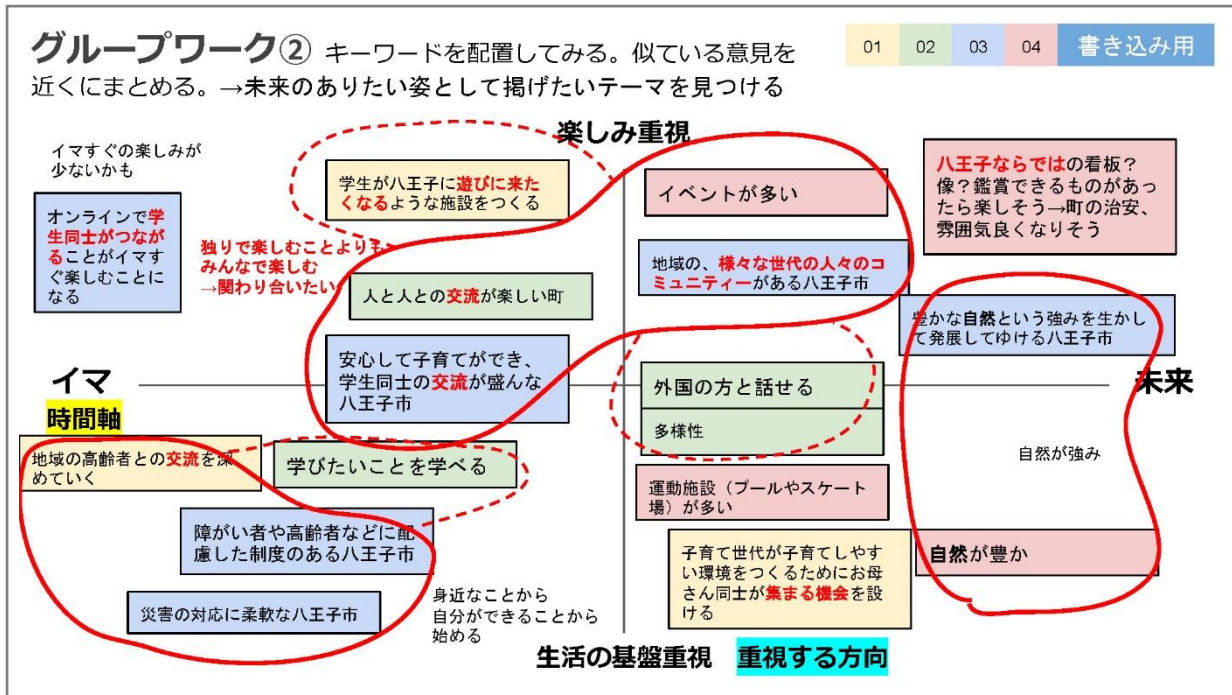


◇C グループ

【第1回】 八王子市の未来のありたい姿(キーワード・テーマ)

検討内容	主な意見
ワーク①-1 高校生として楽しく豊かな高校生活のイメージ	【学生が活用できる場・仕組みづくり】 ・自習できるスペースの整備、書籍や参考書などを譲り受けたり利用したりできる 【意見交換ができる機会づくり】 ・様々な学校の学生と意見交換ができる、学生のコミュニティがつくれる 【快適な環境・仕組みづくり】 ・通学路や施設の拡充、飲食店の学割クーポンの拡充
ワーク①-2 人物像を設定して、その人物が楽しく豊かに暮らせるイメージ	【子育て世代・親子】 ・公園・自然を活用、通勤時間・費用を削減(自転車の活用等) 【高齢世代】 ・地域と関わる機会づくり、市内交通の案内拡充、災害時の避難場所・インフラ整備 【外国人】 ・公共施設等の外国語の案内拡充 【障害のある方】 ・ハンデを補うシステム・環境整備、精神的な支援による安心感づくり
ワーク② 様々な世代が楽しく豊かに暮らすために大切にしたいこと	★交流・・・地域内や様々な世代(高齢者や子育て世代)が交流を深める、人が集まるイベントや施設の整備・拡充、 ★多様性・・・障害者にも配慮、外国人と話せる ★住みやすさ・・・安心して子育てできる、柔軟な災害対策、治安・雰囲気が良い ★豊かな自然

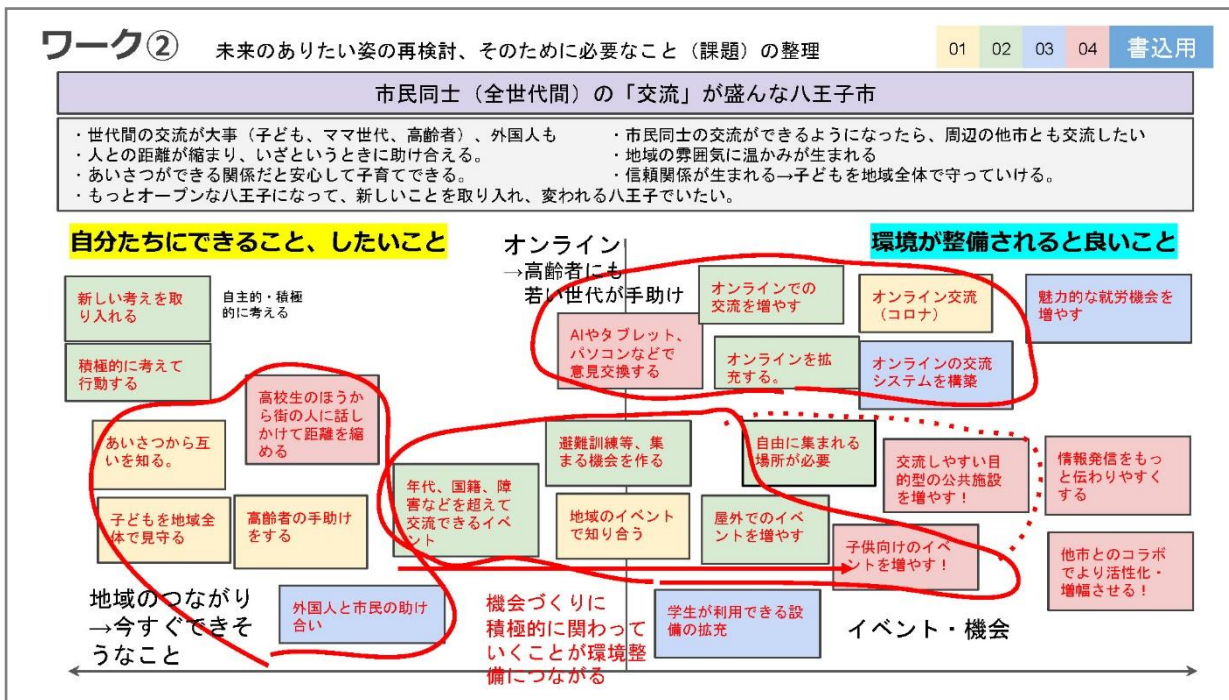
ありたい姿(キーワード・テーマ)	
交流	・みんなで関わり合い、交流することが楽しいまち ・みんなとは:学生、子育て世代、高齢者など様々な世代、障害者、外国人、多様な人々 ・コロナ禍でもオンラインなどで工夫して、みんなで楽しみ、交流を深める →「交流」が重要という意見が多くでたことから、第2回では、なぜ「交流」が大事なのかを検討しようという提案があった
身近なところから、市全体へ	・身近なところから、自分ができることから始める ・八王子ならではの雰囲気づくり
自然が豊か	・豊かな自然という強みを活かして発展するまち



【第2回】 未来のありたい姿の再検討と、その姿に近づくために必要なこと

ありたい姿の キーワード・テーマ	その姿に近づくために必要なこと 主な意見
地域の人と関わりを 深める、交流を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内であいさつをして、お互いのことを知る</li> <li>・高校生から近所の方に日常的に会話をし、距離を縮める</li> <li>・地域内でイベントや話し合う機会(清掃や避難訓練、親子イベントなど)をつくり、積極的に告知し、参加を促す</li> <li>・幅広い年代や国籍が交流できるイベント・機会をつくり、支援し合える環境をつくる</li> <li>・スポーツなどを通して楽しみながら交流できる機会・施設を整備、学生が交流・学習できる施設・設備を拡充する</li> <li>・交流を通して、新しい考え方を取り入れる</li> <li>・交流システムの構築(例、オンライン市民会議の定期開催など)</li> <li>・市内での交流が増えたら、周辺市の高齢者施設や小中学校などとの交流も増やす</li> <li>・人口減少、若者の流出対策として、地価の安さや交通利便性をウリに企業誘致を積極的に行う、人口減少による労働力不足を補うために AI 活用などに取り組む</li> </ul>
今(コロナ禍で)、楽しむことを増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消極的にならずに、何ができるかを積極的に考える</li> <li>・オンラインの仕組み等を拡充し、交流会などを多く開催する</li> <li>・屋外(公園、山)で非接触の遊びや自然を活かしたイベントを開催する</li> </ul>

ありたい姿
<h3>市民同士(全世代間)の「交流」が盛んな八王子市</h3>
<p>全世代間(子ども、ママ世代、高齢者等)の幅広い「交流」が大事であり、外国人も含めて「交流」が盛んなまちでありたいと考えた。「交流」の意義について深く考えたところ、交流によって人との距離が縮まることで、いざという時に助け合えたり、地域の雰囲気になかみが生まれたりする、あいさつができる関係だと安心して子育てできる、子どもを地域全体で守っているからといった、「交流」が地域の暮らしに「安心できる居場所」をもたらすことに気づいた。さらには、オープンな八王子になって、新しいことを取り入れ、変わる八王子でありたいという意見や、市民同士の交流ができるようになったら、周辺の他市とも交流したいという意見もあった。</p>



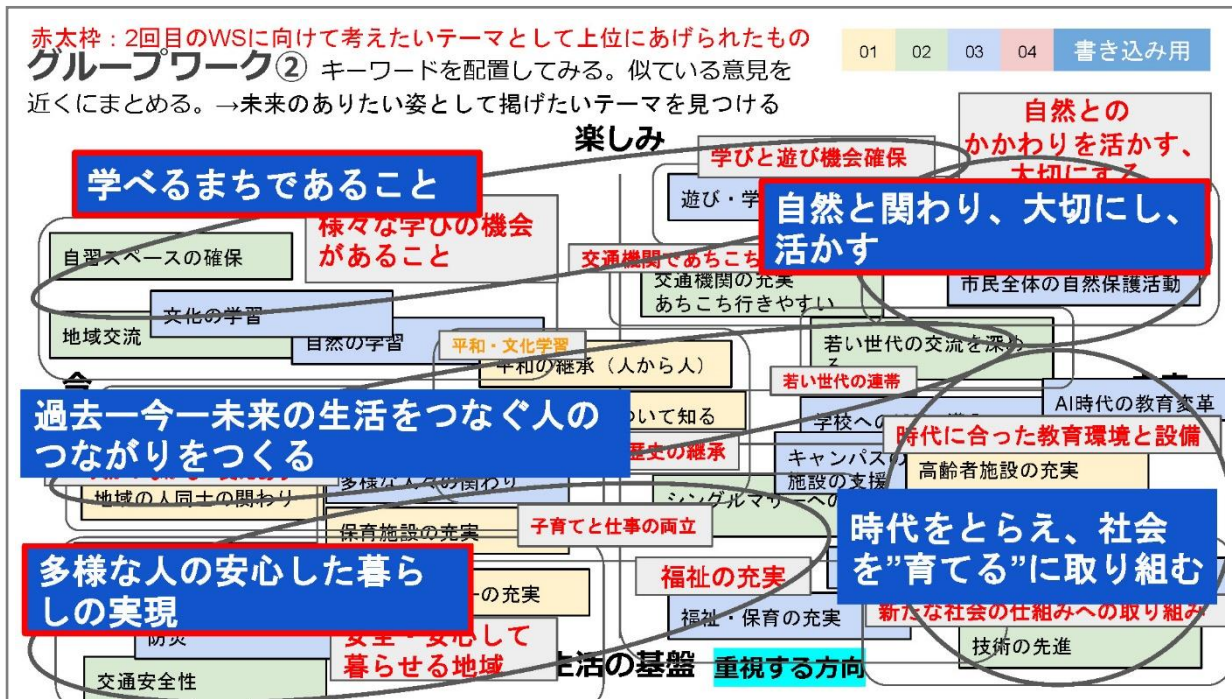


◇D グループ

【第1回】 八王子市の未来のありたい姿(キーワード・テーマ)

検討内容	主な意見
ワーク①-1 高校生として楽しく豊かな高校生活のイメージ	<b>【交流機会】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間交流、大学との交流といった学校単位で交流ができること</li> <li>・イベントや防災訓練をととした地域との交流ができること</li> <li>・歴史や文化と接し、学び、発表できる機会があること</li> <li>・外国籍の人、異年齢間など日ごろ接する機会が少ない人との交流</li> </ul> <b>【遊び】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰り道に立ち寄れる遊べる場所、勉強できる場所があること</li> </ul> <b>【自然の学び】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然とかかわり、学べること</li> </ul>
ワーク①-2 人物像を設定して、その人物が楽しく豊かに暮らせるイメージ	<b>【子育て年代】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事と子育ての両立支援が充実</li> <li>・買い物のしやすさ、お店の充実</li> <li>・交通環境が整備され、安全でもある</li> </ul> <b>【留学生】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントへの参加や英語ガイドなどで地域へ参加する機会がある</li> <li>・留学生のコミュニティ形成、日本語学習などの支援がある</li> </ul> <b>【子供】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な子供の遊び場、自然とのふれあいが多い</li> </ul> <b>【高齢者】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーの施設整備</li> </ul>
ワーク② 様々な世代が楽しく豊かに暮らすために大切にしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学びの機会 …地域、自然、文化を学ぶ機会や自習スペースが充実している</li> <li>★自然とのかかわり …自然とのふれあい、遊びの多さ。それを支える自然保護</li> <li>★安全・安心な暮らし…多様な人が同様に安全・安心に暮らせること</li> <li>★新たな社会づくり …時代に合った教育環境。新たなビジネスや地方自治の取組み</li> <li>★文化・歴史の継承 …人から人に伝わる文化、歴史、地域の暮らし</li> </ul>

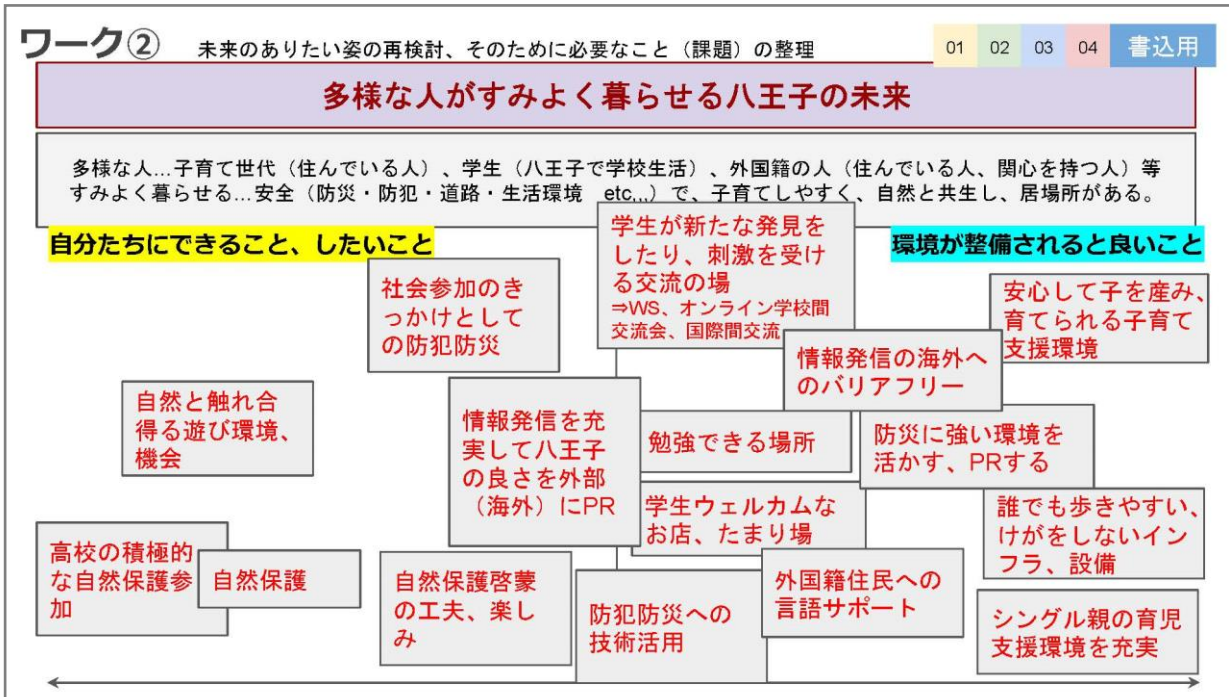
ありたい姿(キーワード・テーマ)	
学べるまちであること	・もっと学びやすいまちになってほしい。必要な時に学習できる「場所」があること。文化や自然といった地域のことをより一層学ぶ「機会」があること。
自然との関わり、大切にし、活かす	・自然は八王子の大切な資源。学びや遊びといった日常の中の接点が増えるとよい。そのためには、自然を大切に保護の学びや活動も大切。
多様な人の安心した暮らしの実現	・子供と親、シニア、学生、外国籍の人、ハンディキャップのある人、昔から住んでいる人、引っ越してきた人。八王子に住む様々な人が安全・安心に暮らせる環境整備と、ライフステージに見合った支援・つながりがあってほしい。



【第2回】 未来のありたい姿の再検討と、その姿に近づくために必要なこと

ありたい姿の キーワード・テーマ	その姿に近づくために必要なこと 主な意見
学べるまちであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見、刺激を受ける交流の「場」</li> <li>・勉強できる「居場所」</li> <li>・日常の中からの社会参加の機会(防災・防犯活動など)</li> </ul>
自然との関わり、大切にし、活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然との共生のための、自然保護活動への参加。学校としての積極的な関与。</li> <li>・楽しい機会や体験を通じた自然保護の啓もう</li> <li>・日常から自然と触れ合える生活や遊びの環境</li> </ul>
多様な人の安心した暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てをしやすい環境、託児施設の負担軽減のインフラ整備</li> <li>・社会的弱者の安心。外国籍住民への言語サポートや、シングルマザー／ファーザーへの支援</li> <li>・安心して歩ける交通の整備。誰でも移動しやすい交通インフラ。</li> <li>・学生ウェルカムなお店、たまり場</li> <li>・情報発信による暮らしと八王子の情報の発信</li> </ul>

ありたい姿
<b>多様な人がすみよく暮らせる八王子の未来</b>
<p>八王子には「多様な人」が住んでいる。それらの人がこれからの時代も「ずっと住み続けたい」と思える選ばれたまちであることが大切だと思う。そのためには「多様な人」が埋もれず、地域から見放されず、必要な支援やつながり、環境の中でイキイキと楽しく生きていけること、相互に学びあえる「すみよく暮らせる」ことが大切だと考える。学生にも勉強や遊び、交流できる居場所が欲しいし、社会にかかわりたい。八王子の良さである自然との共生、安全ゆえに安心していられる日常づくり。自分らしく生きるためにも、自分たちも積極的にかかわっていきたいと感じている。</p>



## ●高校生ワークショップの総括

高校生が八王子の未来のありたい姿として大切に思っていることについて、次のようにまとめました。

### (1)交流の機会にあふれ、居場所がある

高校生同士の交流、小中高大学生など異年齢の交流、地域住民との交流、シニアや子育て世代など多世代間の交流、八王子に暮らす外国人との交流、八王子の企業との交流、周辺市との交流など、様々な立場の人と関わりたい意向が強く、「受け身」ではなく「高校生が積極的に関与」する姿勢や場の必要性があげられた。交流が増えることで、互いが必要としていることを知り助け合うことができる、地域の中に関わりが増え安心につながるなど、「交流」が地域の暮らしに「安心できる居場所」をつくると考えている。

また交流の場は、新しい考えに触れ、新しい発見・刺激が得られる場と考えていて、高校生にとって楽しく意義のある場と考えている。自由に訪れて勉強したり、話したりできる場所など、高校生が集まる「たまり場」への期待もあった。

#### 【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・交流しやすい目的型の交流施設を増やす
- ・世代、国籍、障害などを越えて、楽しみながら交流できるイベント
- ・お年寄りなどと集まって食事や趣味ができる場所。何をしているか見え、楽しそうな場所をつくる
- ・お年寄りが孫世代に日本の伝統文化を教える機会
- ・ボランティア活動や防災防犯活動など、地域のコミュニティ活動に積極的に参加する
- ・学生が利用できる施設の拡充
- ・学生が新たな発見をしたり、刺激を受ける交流の場→オンライン学校間交流、国際交流等
- ・自由に集まれる場、勉強できる場所、学生ウェルカムなお店、たまり場

### (2)他者への思いやりがあり、多様性が尊重される

様々な立場の人が安心して暮らせる、誰もが生きがいを持ち、多様な人が住みよく暮らせるなど、他者を思いやり、多様性を尊重する思いが強くみられた。外国籍住民への言語サポート、ひとり親への支援、安心して歩ける道路整備、誰でも移動しやすい交通インフラなど、弱者への配慮が行き届いた住みよさのソフト・ハード面の整備を重視している。住みよさには、イキイキと楽しく暮らせること、互いに学び合えることなども含まれている。また、思いやりの一歩として、気軽なコミュニケーションが必要と考えている。

#### 【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・安心して子を産み、育てられる子育て支援環境の充実
- ・ひとり親の育児支援環境の充実
- ・外国籍住民への言語サポート、外国人と市民の助け合い
- ・高齢者の手助け、高齢者をはじめ誰もが孤独を感じないような関わりを増やす
- ・誰でも歩きやすい、けがをしないインフラ、ソフト・ハード面の整備、段差の解消
- ・コミュニケーションの取りやすい社会、気軽に話せる、発信できる
- ・気軽に世代を超えてお互いの思いや考え、意見を言い合える場をつくる

### (3)オープンな八王子であること、積極的な情報発信

外から見てオープンな八王子でありたい、新しいことを取り入れ変われる八王子でありたい、八王子の良さをPRして若者の流出抑制や企業誘致を図りたい、近隣市とコラボして八王子の魅力を増幅させたい、多様な情報ツールを活用して海外にまで八王子の良さを伝えたい、都心に近いながら自然や農業が息づく「東京の中の田舎」という魅力を活かし、ずっと住み続けたいと思える選ばれるまちになりたいなど、常に柔軟に変化していくこと、八王子の魅力を発信することの重要性を感じている。

#### 【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・外の人から見てオープンで気軽に入り込みやすい地域コミュニティをつくる
- ・交通機関の充実や育児のしやすさなど、定住したいと思える魅力を増やす
- ・八王子の魅力であるソウルフードや祭りの認知度を高める
- ・豊かな自然や人のつながりなど「田舎らしさ」と都心からのアクセスの良さを前面にアピールする
- ・持続可能な住まい方ができるまちとして移住制度の充実を図る
- ・他市とのコラボにより活性化・増幅させる
- ・情報発信を充実して八王子の良さを外部(海外)にPR
- ・防災に強い環境を活かす、PRする

### (4)モノ・場所・情報の共有

シェアリング・エコノミーの時代を背景に、モノだけでなく、場所や時間の共有が地域社会の持続性にもつながるとの意見がみられた。多くの人が利用できる施設、1か所で幅広い情報が手に入る施設、必要な情報が必要な人に届くシステムが必要で、場所や時間を共有するには、その情報が届くことが重要であると考えている。

#### 【実現するために必要なこと(抜粋)】

- ・手軽にモノ・場所・情報を共有できる仕組みをつくる
- ・一か所で幅広い分野の情報を得られるようにする
- ・多くの人が誰でも使える、地域に開かれた施設の整備→より多くの人に知らせる
- ・助けが必要な人の情報の共有、目印(マタニティマーク等)などツールの作成
- ・身近な情報について、信頼できる情報が入手しやすくなる

■第1回 事前課題

## ■私（高校生）のわくわくワークシート

書いていただく内容に「良い/悪い」「正解/不正解」はありません。自分自身で思うことを自由にお書きください。

- 八王子市内（駅前、繁華街、住宅地、ニュータウン、丘陵地、高尾山や八王子城付近、高校の周辺地域など）を舞台として、あなたが思う“楽しく充実した理想の高校生活”を思い描いてください。
- いますぐ、現実的な実現は難しくとも、例えば20年後の高校生の生活ではどうでしょう。
- できるかどうかは別にして、夢や理想を自由にお書きください。

八王子市内や高校周辺地域を舞台として、こんな高校生活が送れたら、楽しく豊かに暮らせる・・・

✓ あああ

ワークショップ当日（10月25日（日））は、ここで思い描いた内容を他の参加者に共有していただけますが、このシート自体は共有（投影等）しません。このシートは、ご自身のメモ代わりにお使いください。

また、当日は、この内容をもとに話し合いをしてもらいますので必ず当日までに検討し、当日は手元に準備しておくようお願いします。

⇒次のページもあります

## ■なりきりわくわくワークシート

書いていただく内容に「良い/悪い」「正解/不正解」はありません。自分自身で思うことを自由にお書きください。

- 八王子市に暮らす人物像（高校生以外）を設定して、その人物になったつもりで、“八王子市での楽しく充実した理想の暮らし”を思い描いてください。
- 例えば、子ども、大学生、フレッシュマン世代、子育て世代、シニア世代などが考えられます。より想像力を働かせるために、具体的な年齢や職業、結婚の有無、子どもの有無、住んでいる場所、性格など、自由に設定してください。
- いますぐ、現実的な実現は難しくとも、例えば20年後の生活ではどうでしょう。
- できるかどうかは別にして、夢や理想を自由にお書きください。

設定した人物像

✓ あああ

その人物になりきると、八王子市でこんな生活が送れたら、楽しく豊かに暮らせる・・・

✓ あああ

ワークショップ当日（10月25日（日））は、ここで思い描いた内容を他の参加者に共有していただけますが、このシート自体は共有（投影等）しません。このシートは、ご自身のメモ代わりにお使いください。

また、当日は、この内容をもとに話し合いをしてもらいますので必ず当日までに検討し、当日は手元に準備しておくようお願いします。

■第2回 事前課題

**■未来のありたい姿に近づくために必要なことを考えるワークシート** A01

※複数のテーマについて考えた場合は、スライド2枚目以降も使用してください

『八王子の未来のありたい姿』キーワード・テーマ  
(第1回WSを振り返って設定してください)

ありたい姿を実現するために、何ができていないだろう？  
(変えたいこと、新しくやること、環境が整うとよいこと・・・)

ありたい姿に関連して、今の現状や将来の状況を示すデータや事柄等で注目したこと  
※ご紹介したデータだけでなく、自分で調べた内容でも構いません

環境が整備されるといいこと

自分たちができること

**11/7 (土)の夜までに入力してください!**